

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	L さん		
所属	文学部 歴史学科・世界システム史学文化史専攻		
留学先機関名	Heinrich Heine Universität Düsseldorf (国名：ドイツ)		
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (哲学部 現代日本学科)		
留学期間	2019年 9月 - 2020年 3月末	留学開始時 学年	3年次
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度		



1. 出発前の準備について

ビザの種類	無	ビザ申請先	現地 場所(外国人局)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	半年間の留学ではビザが取得できなかった。 到着後すぐにビザの申請に行くのだが、予約がいっぱいでビザが 取得できず、本来ならば 2020 年 7 月 25 日まで取得できない予定 だった。多くの留学生は半年ではビザが取得できず入国後 90 日間 の観光ビザの失効後、ビザ無しの滞在になり、在デュッセルドルフ 領事館の領事長に直接交渉に行ったのだが、その対応はドイツ 外国人局の問題で介入できないという回答だった。		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	海外保険 語学証明 寮の申請		
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語		
勉強方法	自学		
留学先の手続き (必要書類、大変だった こと、どのように取 り組んだか等)	HHU の留学生担当の方の返信が非常に遅く、連絡も突然途絶えるこ とがあるので、辛抱強く粘ってストレスを溜めないようにした方 がいいと思う。また人によって対応が変わり、到着して最初の手続 きなども混乱すると思うので冷静に対応することも大事だと思 う。		
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input type="checkbox"/> 授業料 円 <input type="checkbox"/> 寮費 35000 円 <input type="checkbox"/> 語学研修費 10000 円 <input type="checkbox"/> 教材費 5000 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 渡航費(□片道) 80000 円 海外旅行保険料 2900000 円 <input type="checkbox"/> その他(現地交通費定期を含む学生証) 30000 円		

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	キャセイパシフィック航空	手配	skyticket ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡-香港-フランクフルト-デュッセルドルフ	到着時刻	約 20 時間
大学（寮）への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	フランクフルト空港から新幹線もしくは特急マインツで乗り換える可能性あり 約 6000 円		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	住居手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋
部屋の種類	3 人部屋	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 他国からの学生
住居の申込手順	大学の紹介に従い、業者と直接やりとり		
住居でのトラブル および解決方法	洗濯機がすぐ壊れる。2 回ほど修理があった後 3 ヶ月以上直らなかった。寮のフェイスブックによるとまだ直ってないらしい。まともに使えることの方が珍しい。他の寮やドイツ人の友達の家に洗濯に行くこともある。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	目の前のバス停からバスで 10 分程度 定期券を利用		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 約 80000 円／月 （生活費内訳） 住居費：32000 円／光熱費： 円／通学費： 円 食費： 20000 円／通信費： 3000 円／書籍代：5000 円 その他：(30000 円) 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円 （徴収された費用の名目：)		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	チューターの学生がサポートしてくれるので指示に従えば問題ないと思います。		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>日本の大学と特にかわりないと思います。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p>渡航後 授業開始後 1週間程度 □オンラインで登録</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、 留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p>□有り (具体的には以下のとおり) ・チューター制度 ・ ・ ・</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等)</p>	<p>チューターの学生がついてくれるので必要な手続きなどは問題ないと思います。語学は語学の授業があり、学校生活や日常生活には特別なサポートはありません。語学の授業は外国人しかいないので、積極的に語学以外の授業を受け、コミュニケーションをとって早く現地の友人を作ることをお勧めします。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、 大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証の受け取りは留学生サポートセンター 履修登録、大学 ID の設定などはチューターの学生がサポートしてくれます。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、 どのような活動か、入る きっかけなども具体的に</p>	<p>サークルなどは友人などに紹介してもらって参加するのがいいと思います。インターネットにも掲載されているのでチェックしてみてもいいと思います。インターンなどは考えていましたが、コロナの影響で実行までには至りませんでした。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	買い物			買い物			
10:00					授業	遊び	遊び
11:00					授業		
12:00	授業	タンデム	授業		タンデム		
13:00	授業	タンデム	授業		タンデム		
14:00	授業	タンデム	授業	タンデム	タンデム		
15:00	授業		授業	タンデム			
16:00	授業			タンデム			
17:00	授業	授業					
18:00		授業					
19:00							
20:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
21:00							
22:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関しては、ドイツ人の友人とコミュニケーションをとる中でかなり成長したと思います。ドイツ語は日本であまり使う機会がなく、到着したばかりの時はネイティブの早さにも圧倒されてしまい、友人を作る段階では英語もかなり使いました。ドイツ人の学生は全員英語ができるので、ドイツ語がうまくいかなくても諦めずなんとかコミュニケーションをとることは大事だと思います。日本語を学習したい学生とタンデムをすることによって日常語を学ぶことや授業の疑問も解決できます。タンデムを続けていく中で、サポートで使っていた英語が次第に減ってくることで成長を実感することができて、語学のモチベーションにもなりました。同じ大学からは一人で行ったので、手続きの段階から辛抱強く成長できたのではないかと思います。また、一人だった最大のメリットは、自分から発していかないと何もできなかったということです。積極的に行動して、コミュニケーションをとる中で、ドイツ人の友人の数も増え、ドイツ人 10 人の中に日本人一人で誘ってもらえるようになることができました。またドイツという国に対する考え方も変わりました。ドイツ人は日本人に似ているという噂はありますが、そのようなものは消え去りました。正直日本人ほど勤勉な人々はいないのでと思います。そのような感覚は実際に生活をして初めて感じるものだと思うので、自身の考え方にも影響を与えたと思います。

上記のスケジュールを見てスカスカだなと思うかもしれませんが、私にとってはその空いた時間が非常に重要だったと思います。慣れない環境で生活することは、生活しているだけで、とてつもなく疲れます。時間に余裕を持ってスケジュールを組めたのでストレスもためず充実できたと思います。また、生活に慣れてからは、ドイツ語で映画を見て出てくる単語を覚える時間に当てたり、ドイツ人の友達とパーティーをしたりと、ドイツ語と触れる機会を作るとにかくドイツ語を使いました。また土日は一人で知らない場所に行き、観光地に行くのに地図を使わずに人に道を聞いてみる旅をするなど、無理やりでもアクティブに活動することによって、成長する機会も増やせたのではないかと思います。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

HHU への留学には自分自身の目標を明確に持っていくことが非常に重要だと思います。デュッセルドルフには非常に多くの日本人が生活していて、日本人留学生も非常に多いので悪く言えばドイツ語を使わずに生活することも可能だと思います。ドイツ語の習得だけを目標とするならば、他の大学も選択肢としてしっかり考える必要もあるのではないかと思います。しかし、この大学の魅力はその日本人が非常に多く、日本に興味を持っているドイツ人学生も多いという部分でもあると思います。ドイツ人の学生とも仲良くなる「きっかけ」だけは得やすいと思います。また積極的に活動していけば駐在員とも交流することができるので、実際にドイツで駐在員として働いている人の苦労や愚痴、経験などの話を聞けるので非常に面白く貴重な経験になると思います。また現代日本学科があって、日本文化史や日本史の授業を受講することもでき、日本がどのように教えられているのかも学ぶことができるので、そういう部分に興味があるのならば非常に良いと思います。また月に一回日本語を学びたいドイツ人と日本人の交流会もパブで開催されているので、多少の人見知りでも、現地で友人ができるかどうかの心配はないと思います。

生活面では、寮の洗濯機がいつまでも壊れていたり、ビザの申請が思い通りにならないこともあったりするので多少面倒なこともあります。そのような話をネタとして消化することができるのならば楽しいのではないかと思います。また、日本食のレストランや日本食スーパーも非常に多く、海外での「日本食」を体験することができるのは面白いのではないかと思います。美味しいかどうかは別の問題ですが。さらに国際空港が近いので、ヨーロッパの各地や国内でも時間のかかるベルリンやミュンヘンなどに行く際には非常に便利だと思います。また学生証についている定期では州内全ての公共交通機関に乗り放題などで州内の様々な場所に無料で行けるのは得なので土日は家にこもるのではなく知らない場所に出かけてみるのも良いと思います。

留学には様々な目標があると思いますが自身の目標の達成のために最適な大学を選ぶために参考になれば嬉しいなと思います。

留学を通しての感想

今回の留学に関して率直な感想は悔しい一言です。コロナの影響もあり途中で帰国となってしまったので、事前に考えて計画していたことの半分しか実行できず、語学も残り半年あればもっとという気持ちでいっぱいです。しかし HHU を選んで留学したことへの後悔はありません。自分の目標の達成にとっては完璧な大学であったと思います。また、積極的に活動して、社会人と関わる機会も多く、ドイツで働く日本以外の外国人の人たちと英語を使って話をする中で、モチベーションが下がることはありませんでした。帰国してからの勉強へのモチベーションにも大きく繋がっています。人種国籍年齢立場など様々な人と話していく中で、自分の力のなさを感じることも多かったです。それ以上にいろんな生き方があるというように感じるようにもなりました。今回の留学で一番大きかったのは、そのような人々の話を聞き自身の今後の道への選択肢が格段に広がって見えたということかもしれません。半年前倒しの帰国になって悔しさは残りますが、非常に良い留学になったと感じています。